

免疫チェックポイント阻害薬による肝障害・胆管障害についてのコンサルテーションを受け付けます

免疫チェックポイント阻害薬（ICI）の普及に伴い、日常臨床の中で ICI による肝障害・胆管障害に遭遇する機会が増え、診断や治療について悩むことも稀ではなくなります。日本肝臓学会企画広報委員会・薬物性肝障害ワーキンググループでは、ICI による肝障害・胆管障害について、診断や治療方針、その他診療上の疑問が生じた際のコンサルテーションを受け付けています。

お名前・連絡先をご記入の上、ご相談内容及び臨床情報（+必要に応じて血液・画像検査結果）を記載ないし添付したメールをお送りください。ただしメール添付の際には個人情報の漏洩にご注意いただき、個人情報は黒塗りとする、あるいは添付ファイルにはパスワードをつけるなどにより情報をお送りください。また、肝生検診断のコンサルトには、やはり個人が特定できない状態とした病理標本を宅急便などで別途送付してください。

メールの宛先：ici_liver@teikyo-u.ac.jp

（アドレスをコピペ、ないし右の QR コードを読み込んでください）



（質問の例）

- ・この症例は本当に ICI による肝障害・胆管障害なのか判断に迷っている。データや病理組織標本を見てもらい診断についてアドバイスして欲しい。
- ・ICI による肝障害がある症例に肝生検を行ったが診断が難しい。この領域に詳しい病理医からセカンドオピニオンを得たい。
- ・ステロイド治療を行っても（あるいは二次治療として免疫抑制薬を追加しても）肝障害が改善しない。どうしたらよいか。
- ・ステロイド治療によって肝障害は改善したが、原疾患に対する ICI を再開してもよいだろうか。
- （・・・その他、なんでも結構です。）

ただし、ご質問に対しては専門医が回答いたしますが、あくまでアドバイスにとどまり、治療上の最終的な責任を負うものではないことをご承知おきください。

帝京大学医学部内科 田中 篤
名古屋大学医学部附属病院消化器内科 伊藤 隆徳
神戸大学医学部附属病院消化器内科 児玉 裕三
国際医療福祉大学医学部病理・病理診断科 小無田美菜